



— 第29期 —
中間事業報告書

2000年4月1日から2000年9月30日まで

ローランド株式会社

証券コード
7944

ローランド株式会社
財務ハイライト(単独)

9月30日に終了した6か月間

単位:百万円(1株当たり金額を除く)

	当中間期	前中間期
売上高	15,169	17,670
経常利益	344	1,910
中間(当期)利益	364	1,333
1株当たり中間(当期)利益(円)	14.25	52.58
総資産	47,331	47,047

ローランド企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう
BIGGESTよりBESTになろう
共感を呼ぶ企業にしよう

ローランド独自の企業活動の根底にある精神は、上記3つのスローガンに集約されます。これこそ当社の企業としての意志であり、無限の可能性を秘めた音創りの明日に向かって、果てしなく広がる、大きな夢の源にほかなりません。さらに飛躍するローランドにどうぞご期待ください。

目次

株主のみなさまへ 1
 営業の概況(単独) 2
 業績の推移(単独) 3
 新製品紹介 4
 トピックス 8
 中間貸借対照表(単独) 10
 中間損益計算書(単独) 11
 営業の概況(連結) 12
 業績の推移(連結) 13
 事業所 14
 企業データ 16
 株主情報 17



取締役社長 檀 克義 (だん かつよし) 取締役会長 梯 郁太郎 (かげし いくたろう)

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 さて、当社の第29期上半期(2000年4月1日～同年9月30日)が終了いたしましたので、事業の概要および中間決算につき、ご報告申し上げます。
 当上期の業績は前年同期に比べ厳しい内容となりましたが、さらに全社一丸となって通期目標の達成に取り組んでまいりますので、今後とも株主のみなさまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2000年12月

営業の概況(単独)

当中間期の楽器業界における消費マインドは、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

当社におきましては北米市場が堅調に推移したものの、欧州市場及び国内市場の厳しさを反映して、当中間期の売上高は151億69百万円(前年同期比14.2%減)、経常利益は3億44百万円(前年同期比82.0%減)、中間(当期)利益は3億64百万円(前年同期比72.7%減)の減収減益となりました。

品目別の状況は次のとおりです。

[電子楽器]

海外におきましては、北米を中心に新製品のモジュール型シンセサイザー、電子パーカッション(打楽器)などが好調に推移しましたが、現行商品のキーボードシンセサイザーおよびギター用マルチエフェクターなどが伸び悩みました。また国内におきましては、特にエレキギター市場低迷の影響もありギター用エフェクター、アンプなどが全般に伸び悩み、電子楽器全体では前年同期を下回りました。

[家庭用電子楽器]

電子ピアノは「高機能高価格帯」の商品が好調に推移いたしました。特に海外においてはグランドピアノタイプの高額機種が好調で、前年同期をやや上回る実績となりました。国内におきましても「高機能高価格帯」の商品は好調でしたが、単機能型で中低価格機種の販売台数が伸びず、前年同期を下回りました。その結果、家庭用電子楽器全体では前年同期をやや下回る結果となりました。

[音響機器]

デジタルレコーダー分野のギターユーザーに特化した新製品が国内外ともに好調に推移いたしました。しかしながら海外におけるデジタルミキサー「VMシリーズ」の伸び悩み、国内でのデジタルレコーダー「VSシリーズ」の需要一巡による販売台数減少により、全体では前年同期を下回る結果となりました。

[コンピュータ・ミュージック関連機器他]

パーソナルコンピュータに周辺機器を簡単に接続できる新規格「USB」の普及に伴い、USB対応製品群「USB SOUND GEARシリーズ」が国内外ともに好調に推移いたしました。しかしながら国内において前期の売上増に貢献した「ミュージックシリーズ」の販売数減少により、全体ではやや前年同期を下回りました。

なお、昨年12月より開始いたしましたNTTビジュアル通信株式会社との共同事業であるiモード携帯電話向け着信メロディー配信サービス「ローランドサウンドギャラリー」の登録者数は引き続き順調に増加しております。

技術面におきましては、人の声などを録音した「フレーズ」の音の高低、テンポ、音質を自由にコントロールできる画期的な新技術「VariPhrase(バリフレーズ)」を本年2月に発表いたしました。この技術を搭載した製品を当期は2機種発売いたしました。今後も当社の売上に寄与する種々の新製品に搭載してまいります。

また開発・生産面におきましては、家庭用電子楽器を生産する都田工場に続き、主力工場である細江工場においても生産方式を「セル生産方式」*へ移行し、市場の変化に即応できる体制といたしました。

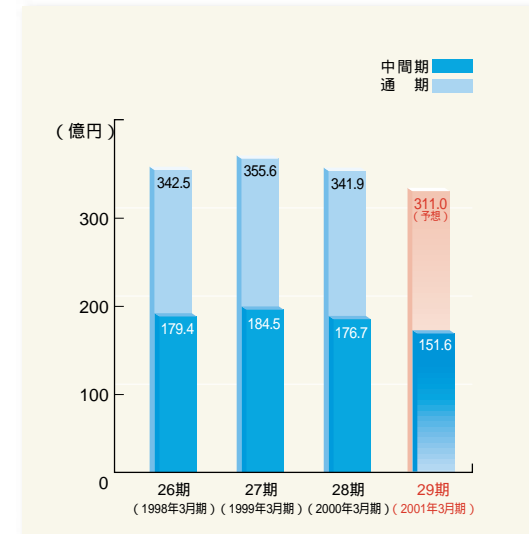
なお、現在の浜松研究所に隣接して研究棟(鉄骨2階建、延べ2,480m²)の増設に着手しております。既存研究所設備と合わせ、特に「空間音響」の研究開発を強化し、新たな基礎技術開発に注力いたします。完成は2001年4月を予定しております。

*コンベア方式による分業と異なり一人完結型で生産を行う方式

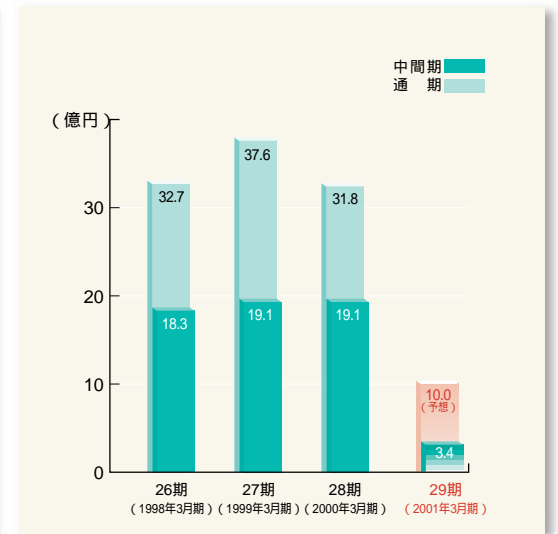
業績の推移(単独)

注)会計処理の変更に伴い、当中間期より受取ロイヤリティーを売上高に組替えて表示しています。なお、前中間期および前期についても同様に組替えて表示しています。

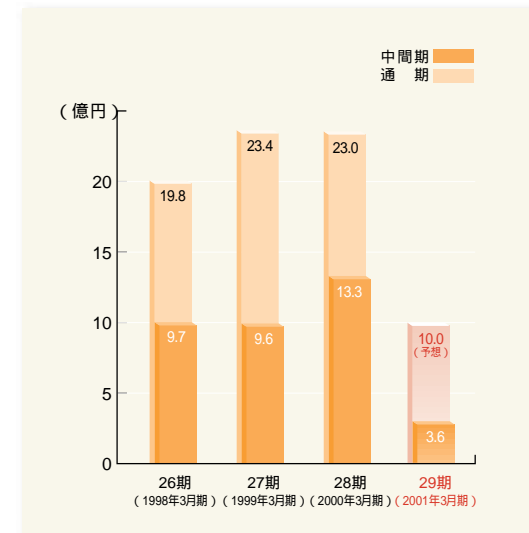
<売上高>



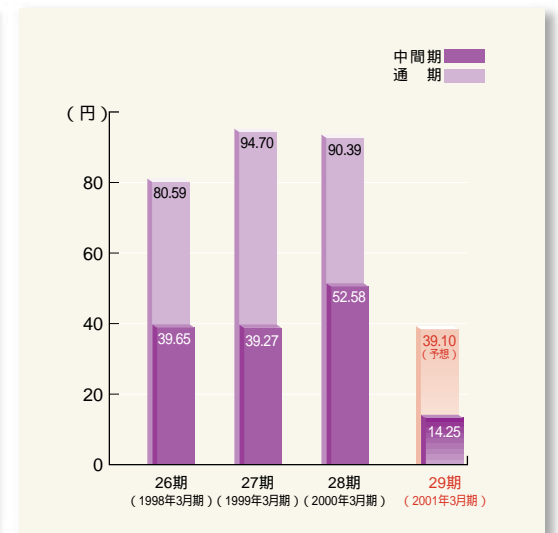
<経常利益>



<当期利益>



<1株当たり当期利益>



指先の微妙なタッチの差が伝わる

デジタル・パーカッションの常識を変える驚異の演奏表現力

「ハンドソニック」<グッドデザイン賞受賞>

HPD-15



new products
line up

HANDSONIC

ハンドソニックは素手で叩きます。この、これまでの電子打楽器にはユニークな演奏方法の採用により、打楽器独自の奏法が再現できるコンパクトなデジタル・ハンド・パーカッションです。手と指の微妙なタッチの差まで叩き分けて表現することが可能、さらにデジタルな

らではのコントローラーも装備。演奏表現の幅が広がります。ワールドワイドなパーカッション・サウンドをはじめ、シンセ・ドラムや各種効果音まで、全部で600音色以上の多彩なサウンドを満載しています。豊富な音色とともに、高品位なサウンドをリアルな音色変化で

表現し、さまざまなパーカッションの奏法まで表現可能なHPD-15は、トレーニングからステージまで幅広く使いこなせるモデルです。また、HPD-15は(財)日本産業デザイン振興会の2000年度グッドデザイン賞を受賞。Gマーク商品の認定を受けました。

デジタルピアノの頂点へ

これが新世代 ローランドピアノ・デジタル

「ローランドピアノ・デジタルKR新シリーズ」

NEW KR-SERIES



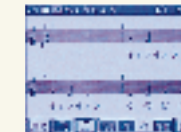
まさにグランドピアノの弾き心地
プログレッシブ・
ハンマー・アクション鍵盤

グランドピアノの自然で心地よいあのタッチを徹底追求し、連打性や静粛性といった基本性能をさらに向上させて生まれたのが、新開発の「プログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤」です。高音域は軽やかに、低音域は重量感たっぷりの弾き応え。しかもそっと弾いた時に感じるグランドピアノ特有のクリック感もよりリアルに味わえます。



バンドと一緒に楽しくアンサンブル
バーチャル・セッション

お気に入りのドラム・パターン、ベースラインをセレクトし、オリジナルの伴奏パターンに合わせて演奏できる「バーチャル・セッション」。自分だけのバンドを従えてのセッションが簡単に体験できます。



楽譜や歌詞を大型画面でディスプレイ
スコア表示機能

内蔵曲や市販のSMFミュージックデータはもちろん、自分で弾いて録音した演奏も大型液晶画面に楽譜で表示。テンポを刻みながら弾むバウンス・ボールにより、弾いている箇所を目で見ながら演奏することができます。



new products
line up



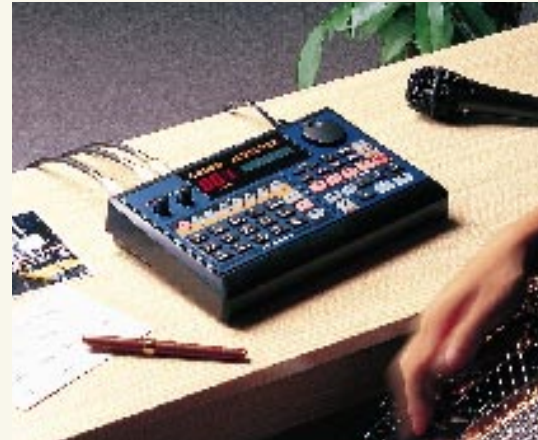
KR-1077

KR新シリーズでは新しくスコア表示機能が搭載され、楽譜や歌詞を大型液晶画面で表示することができます。また、新構造の「プログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤」により、低音域から高音域まで、微妙なタッチの変化も実感していただけます。さらに、新音源の採用で

幅広い音色の変化や自然な共鳴も表情豊かに表現します。弾きたい曲にぴったりの自動演奏パターンを簡単操作で選択できる自動伴奏機能も新しく搭載した、デジタル・ピアノならではの魅力が満喫できる新シリーズです。

イントロや、エンディングも含めた曲づくりが、あらかじめ用意された多彩な音楽ジャンルのスタイルを選び、コード進行を組み合わせるだけで行なうことができます。それを自動演奏しながら自分でギターを弾けば、まるでバンド仲間と演奏してい

る気分で練習することができます。さらに自分の演奏やボーカルを、バックの演奏と一緒にデジタル録音することも可能です。ギター演奏を大いに盛り上げてくれるJS-5は、その楽しさを多くの人に体験していただけるギタリスト向けバックンギマシんです。



「ジャムステーション」JS-5

new products
line up

「ギター・シンセサイザー」GR-33

1977年に当社が世界で初めて開発した、ギター奏法をそのまま活かしながら、シンセサイザーならではの多彩なサウンドで演奏できるギター・シンセサイザーのニューモデルです。エレキギター一本で、アコースティックギターの音色を出したり、弦楽器はもちろん、鍵盤楽器、

管楽器から民族楽器、そしてイメージ豊かなサウンドまで、内蔵の384種類もの音色を駆使した演奏が可能です。音源、操作性ともに、さらに向上いたしました。



「アレンジャー・キーボード」VA-7

バリフレーズ*・プロセッサーキーボードにもたらししました。VP-9000で話題を呼んだまた、リアルで高品質な多数の音色、多彩な音楽スタイルに対応する高度な自動伴奏機能などを搭載し、音楽を自由にあやつりたい、つくりたい、みせたい、というニーズに応自在に操る新しい表現力をえるキーボードです。

キーボードにもたらししました。また、リアルで高品質な多数の音色、多彩な音楽スタイルに対応する高度な自動伴奏機能などを搭載し、音楽を自由にあやつりたい、つくりたい、みせたい、というニーズに応自在に操る新しい表現力をえるキーボードです。

*バリフレーズ(Variphase)とは、キャプチャーしたオーディオ・フレーズ(ウェーブ)をいくつかのアルゴリズムを持つ新開発エンコーディング・メソッドにより、ピッチ(音程)、タイム(演奏時間)、フォルマント(音色の質/キャラクター)といった音を構成する3要素を解析・抽出し、そしてこれらを独立してリアルタイムにコントロールするローランド独自の先進技術です。これにより、従来のシンセサイザーやサンプラーでは表現できなかったまったく新しい演奏表現、サウンド・デザイン、パフォーマンスが可能になります。

new products
line up

「Vギター・アンプ」VGA-7



ローランド独自のモデリング技術COSM*を採用したデジタル・ギター・アンプです。VGA-7はチューブ・アンプだけでなく、20種類のアンプ・タイプを装備しており、往年の銘機をはじめ、多彩なサンプのパーツや、素材、回路からモデリングし、各ツマミを回した際の音色の変化や、弦のピッキングの強弱による音の違いも忠実に再現しています。

さらにチューブ・アンプだけでなく、20種類のアンプ・タイプを装備しており、往年の銘機をはじめ、多彩なサンプのパーツや、素材、回路からモデリングし、各ツマミを回した際の音色の変化や、弦のピッキングの強弱による音の違いも忠実に再現することもできます。

*COSM(Composite Object Sound Modeling) サウンド・モデリングは、原振動が、人間の耳に達するまでの過程にかかわる物体の構造、素材、電気系、電子系、磁気系などのオブジェクトを、最先端のDSP技術で再構築する技術です。COSMは、さまざまなオブジェクトに最適なサウンド・モデリングを組み合わせて、既存の楽器のイミュレーションから、超現実の楽器の構築まで、あらゆるサウンドを創出できる可能性を持ったメソッドです。



ローランド ディー・ジー 株式会社 東証第二部に上場

ローランド グループの一つで、大型プリンターや工作機械などを製造・販売するローランド ディー・ジー(ローランドDG、静岡県浜松市、富岡昌弘社長)が2000年10月26日、東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。

電子ピアノによるピアノコンチェルトが聴衆を魅了 ザ・プランニュー・クラシック・コンサート開催

岩城宏之指揮、東京フィルハーモニー交響楽団の演奏で、ローランド芸術文化振興財団の主催による「ザ・プランニュー・クラシック・コンサート」が2000年6月6日に東京都赤坂のサントリーホールにて行なわれました。当日、岩城氏自らが電子ピアノを「人間が創った究極の楽器であるピアノに限りなく近いだけでなく、それ以上のことを可能にしてくれる」と賞賛。ローランドが新しく発表した電子ピアノとアコースティックなオーケストラの奏でるハーモニーが聴衆を魅了しました。



ローランドピアノ・デジタル KR-1077



岩城宏之氏

ローランド ビジネスプラン 株式会社設立

電子ピアノなど家庭用電子楽器の販売体制強化のために、100%出資の新会社ローランド ビジネスプラン(静岡県引佐郡・檀克義社長)を2000年4月1日に設立いたしました。直営及び販売店との提携によるミュージック・スクールで運営面のサポートを行ないながら地域に密着した営業体制の強化を図ります。



topics

国際楽器見本市にてローランド製品が好評

第一回 「ミュージックメッセ インターナショナル プレス アワード」 にて2機種が受賞

欧州フランクフルトにて開催されました国際楽器見本市、ミュージックメッセにおいて「第一回ミュージックメッセ インターナショナル プレス アワード」が発表され、ローランドの2機種(バリフリーズ・プロセッサ VP-9000及びギター・シンセサイザー GR-33)が優秀製品として表彰されました。特にVP-9000は、Most Innovative Product of the year 2000に選出されての受賞です。



郵政省発行「20世紀デザイン切手」に採用 ローランドのシンセサイザーが切手に

郵政省が日本の20世紀をテーマとして1999年8月から2000年12月までシリーズで発行している「20世紀デザイン切手(第15集)」のデザインに、ローランドの国産初システムシンセサイザー System700と8音ポリフォニック・シンセサイザー Jupiter-8が採用されました。



完成予想図

30周年記念事業 浜松研究所を増設

30周年記念事業の一環として、浜松研究所の増設に着手いたしました。ローランドは「開発・提案型企業」として市場ニーズを開拓してきましたが、ここ数年のマルチメディア関連の電子技術の進歩を先取りするため、空間音響の研究、新技術開発に取り組みます。完成は2001年4月の予定となっております。

新製品の体験提供

ビデオキャンパスサロンのオープン

最新のビデオ編集システム、サウンド編集システムの製品体験や著作権フリーCDの試聴ができるアットホームなショールームを大阪駅前第2ビル2階にオープンしています。名付けて「ビデオキャンパスサロン」。販促イベントも企画・立案し、お客さまへのサービスの提供と提案を行ないます。なお、東京におきましても2000年12月18日(予定)より秋葉原にオープンいたします。



中間貸借対照表(単独)

2000年9月30日現在

(単位:千円)

(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	18,704,893	流動負債	4,122,871
現金及び預金	9,610,141	買掛金	1,797,720
受取手形	1,008,164	1年以内償還予定転換社債	795,000
売掛金	2,901,316	賞与引当金	700,122
たな卸資産	3,373,451	その他	830,028
その他	1,834,919		
貸倒引当金	23,100		
		固定負債	447,956
固定資産	28,626,506	役員退職慰労引当金	428,000
有形固定資産	12,575,761	その他	19,956
建物	4,718,635		
機械及び装置	268,290		
工具器具備品	778,415		
土地	6,342,876		
建設仮勘定	265,299		
その他	202,244		
無形固定資産	372,672		
		(資本の部)	
投資等	15,678,072	資本金	9,274,272
投資有価証券	1,916,903	法定準備金	11,566,068
子会社株式	10,301,863	資本準備金	10,800,378
長期貸付金	888,563	利益準備金	765,689
その他	2,656,909	剰余金	21,757,170
投資評価引当金	79,565	任意積立金	20,833,835
貸倒引当金	6,603	中間未処分利益	923,334
		(中間利益)	(364,355)
		その他有価証券評価差額金	163,061
資産合計	47,331,400	資本合計	42,760,572
		負債及び資本合計	47,331,400

中間損益計算書(単独)

2000年4月1日から2000年9月30日まで

(単位:千円)

(経常損益の部)	
営業損益の部:	
営業収益	15,169,736
売上高	15,169,736
営業費用	15,278,789
売上原価	11,085,147
販売費及び一般管理費	4,193,641
営業損失	109,052
営業外損益の部:	
営業外収益	523,253
受取利息	69,123
受取配当金	421,958
その他	32,171
営業外費用	69,489
支払利息	4,934
有価証券評価損	29,772
為替差損	16,355
その他	18,427
経常利益	344,711
(特別損益の部)	
特別利益	8,983
特別損失	28,354
税引前中間利益	325,341
法人税、住民税及び事業税	13,000
法人税等調整額	52,014
中間利益	364,355
前期繰越利益	558,979
中間未処分利益	923,334

当中間期の概況

当中間期の経済環境は、国内の景気は緩やかな回復基調にあるものの、楽器業界における消費マインドは明るい兆しが見えるまでには至らず、海外においても円が高い水準にあり、急激なユーロ安の影響等により電子楽器事業は全般的に厳しい状況で推移いたしました。また、コンピュータ周辺機器事業は、新製品の売上と生産稼働率の向上が寄与し、堅調に推移いたしました。

事業別営業の概況

[電子楽器事業]

日本におきましては、昨年末から今春にかけて発売した新製品が好調に推移したものの、主力商品であるキーボードシンセサイザーおよびギター用エフェクター、デジタルレコーダーなどが市場低迷の影響もあり売上高は前年同期を下回りました。コンピュータミュージック関連機器はMP3の普及などによりUSBオーディオ商品が健闘しましたが、ミュージングシリーズの売上減少が影響し、前年同期を下回りました。また家庭用電子楽器におきましては、電子ピアノの高機能商品が好調に推移したものの、全体では前年同期を下回る結果となりました。

北米におきましては、キーボードシンセサイザー、デジタルミキサーが伸び悩んだものの、電子ピアノ、デジタルレコーダー、デジタルドラム等の新製品が好調に推移し、売上高は米ドルベースで前年同期を上回りました。

欧州におきましては、イタリアで開発・生産するキーボードの発売時期のずれ込みと、ドイツでの競争激化の影響が加わり、全般的に伸び悩み、売上高は前年同期を下回りました。

技術面におきましては、人の声などを録音した「フレーズ」の音の高低、テンポ、音質を自由にコントロールできる画期的な新技術「VariPhrase(バリフレーズ)」を本年2月に発表しました。この技術を搭載した製品を当期は2機種発売いたしました。今後当社の売上に寄与する種々の新製品に搭載してまいります。

また、開発・生産面におきましては、家庭用電子楽器を生産する都田工場に続き、主力工場である細江工場においても生産方式を「セル生産方式」へ移行し、市場の変化に即応できる体制といたしました。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間(当期)利益	1株当たり中間(当期)利益
2000年9月中間期	28,825	897	920	282	11円06銭
1999年9月中間期	29,891	2,708	2,880	1,699	67円02銭
増減率	3.6%	66.9%	68.0%	83.4%	83.5%

[コンピュータ周辺機器事業]

プリンターの売上構成比が6割を超える状況となり、インクジェットカラープリンター新製品を中心に需要は活発であり、これに付随してインク、メディア等のサプライ品も順調に売上を伸ばしました。これに対し、プロッタの売上構成比は2割弱と漸減傾向にあり、価格競争の激化とサイン市場におけるカッティングプロッタのユーザーがカッティング機能をもつカラープリンターへの買い替え需要として活発化しつつあります。

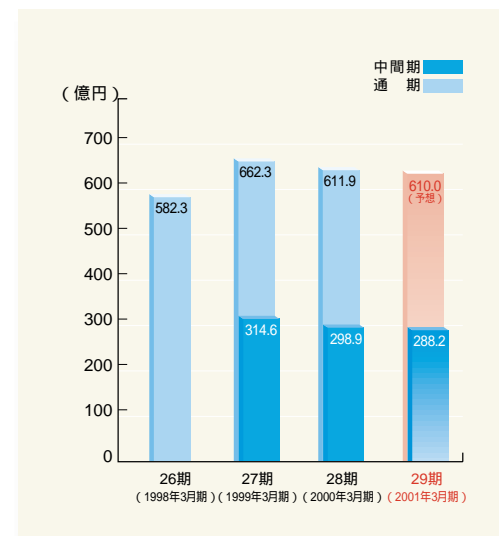
業務用工作機器は着実に増加しており、三次元工作機械等の新市場の開拓に向けて注力していく方針です。また、パーソナル工作機器も堅調で、入力機、出力機共に製品ラインアップは充実してまいりました。個人使用のみならず、業務用ツールとしても需要は拡大傾向にあります。

(単位:百万円)

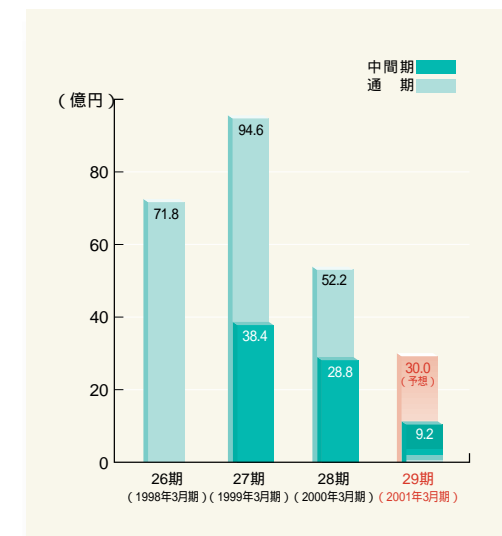
	電子楽器事業		コンピュータ周辺機器事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
2000年9月中間期	23,198	398	5,626	499
1999年9月中間期	24,587	2,138	5,303	569
増減率	5.6%	81.4%	6.1%	12.3%

注) 27期より中間決算においても連結決算情報を開示することになりました。

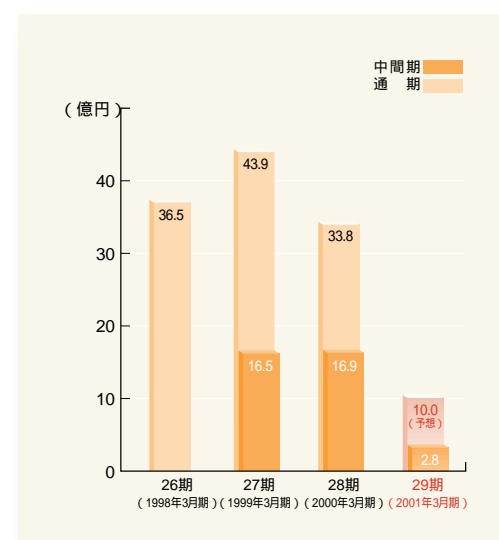
< 連結売上高 >



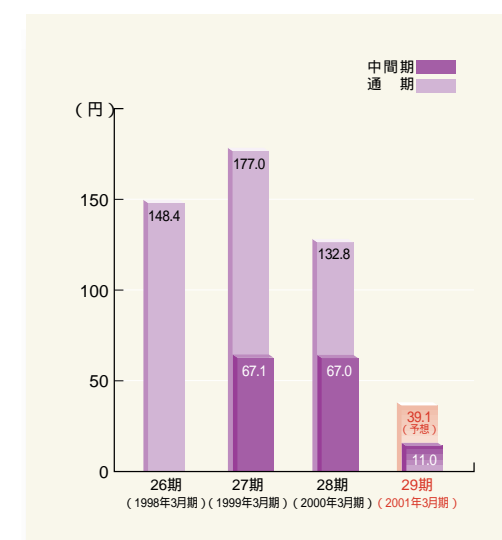
< 連結経常利益 >



< 連結当期利益 >



< 連結1株当たり当期利益 >





本社(大和堂島ビル1・6・7階)



細江工場

本 社	〒530-0004	大阪市北区堂島浜1丁目4番16号	06-6345-9800
工 場			
細 江 工 場	〒431-1304	静岡県引佐郡細江町中川2036番地の1	053-523-0230
都 田 工 場	〒431-2103	浜松市新都田1丁目5番3号	053-428-5141
高 丘 工 場	〒433-8118	浜松市高丘西2丁目9番15号	053-437-3111
伊 左 地 工 場	〒431-1111	浜松市伊左地町3005番地の1	053-485-1818
松 本 工 場	〒390-1242	松本市大字和田4010番地5	0263-48-0211
研 究 所	〒431-1305	静岡県引佐郡細江町気賀4141番地	053-523-1771
技術センター	浜松、大阪、アメリカ(2カ所)、イタリア		
試験センター	〒431-2103	浜松市新都田1丁目5番3号	053-428-5095
流通センター	〒433-8118	浜松市高丘西4丁目7番19号	053-437-3113
営 業 所			
札 幌 営 業 所	〒060-0042	札幌市中央区大通西6丁目2番6号	011-281-0708
仙 台 営 業 所	〒980-0014	仙台市青葉区本町2丁目10番33号	022-225-6221
東 京 営 業 所	〒101-0041	東京都千代田区神田須田町2丁目7番地	03-3251-5595
名 古 屋 営 業 所	〒460-0008	名古屋市中区栄2丁目11番7号	052-202-1881
大 阪 営 業 所	〒530-0004	大阪市北区堂島浜1丁目4番16号	06-6345-9521
広 島 営 業 所	〒730-0031	広島市中区立町2番27号	082-247-2731
福 岡 営 業 所	〒812-0025	福岡市博多区店屋町1番31号	092-282-4190
海外事業所	ロツテルダム(オランダ)		

ローランド・ミュージック・スクール	札 幌 セ ン タ ー	〒060-0042	札幌市中央区大通西6丁目2番6号	011-281-1777
	大 宮 セ ン タ ー	〒330-0845	大宮市仲町2丁目23番2号	048-640-5371
	渋 谷 セ ン タ ー	〒150-0031	東京都渋谷区桜丘町23番23号	03-3770-6121
	名 古 屋 セ ン タ ー	〒460-0008	名古屋市中区栄2丁目11番7号	052-220-1440
	高 槻 セ ン タ ー	〒569-0804	高槻市紺屋町1番1号	0726-85-2203
	堂 島 セ ン タ ー	〒530-0004	大阪市北区堂島浜1丁目4番16号	06-6346-0552
	塚 口 セ ン タ ー	〒661-0012	尼崎市南塚口町2丁目24番12号	06-6426-6664
福 岡 セ ン タ ー	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前3丁目27番22号	092-477-7088	

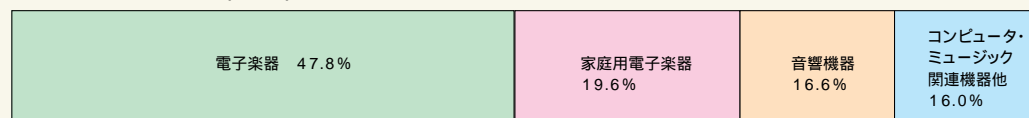
グループ会社(国内)				
製 造	ボス株式会社	〒432-8006	浜松市大久保町1227番地	053-485-7780
製 造	ローランド イーディー株式会社	〒390-1242	松本市大字和田4010番地5	0263-48-0211
製造販売	ローランド テック株式会社	〒431-1111	浜松市伊左地町3005番地の1	053-485-1818
販 売	ローランド アイ・ビー株式会社	〒433-8118	浜松市高丘西2丁目9番15号	053-439-5331
販 売	エディロール インターナショナル株式会社	〒433-8118	浜松市高丘西2丁目9番15号	053-439-1144
デザイン	スタジオ アール株式会社	〒433-8118	浜松市高丘西2丁目9番15号	053-439-3321
コンサルティング	ローランド ビジネスプラン株式会社	〒431-1304	静岡県引佐郡細江町中川2036番地の1	053-523-0230
製造販売	ローランド ディー・ジー株式会社	〒431-2103	浜松市新都田1丁目6番4号	053-484-1200

グループ会社(海外)				
販 売	<i>U.S.A.</i>	<i>Roland Corporation U.S.</i>		
		<i>Edirol Corporation North America</i>		
	<i>Canada</i>	<i>Roland Canada Music Ltd.</i>		
	<i>Brazil</i>	<i>Roland Brasil Ltda.</i>		
	<i>Australia</i>	<i>Roland Corporation Australia Pty. Ltd.</i>		
	<i>New Zealand</i>	<i>Roland Corporation (NZ) Ltd.</i>		
	<i>U.K.</i>	<i>Roland (U.K.) Ltd.</i>		
		<i>Edirol Europe Ltd.</i>		
	<i>Germany</i>	<i>Roland Elektronische Musikinstrumente HmbH.</i>		
	<i>France</i>	<i>Roland France S.A.</i>		
	<i>Austria</i>	<i>Roland Austria GmbH</i>		
	<i>Scandinavia (Denmark, Finland, Norway, Sweden)</i>	<i>Electronic Musical Instruments Roland Scandinavia A/S</i>		
	<i>Benelux (Belgium, Holland, Luxembourg)</i>	<i>Roland Benelux N.V.</i>		
	<i>Switzerland</i>	<i>Roland (Switzerland) AG</i>		
		<i>Musitronic AG</i>		
	<i>Italy</i>	<i>Roland Italy S.p.A.</i>		
	<i>Spain</i>	<i>Roland Electronics de Espana, S.A.</i>		
	<i>Portugal</i>	<i>Roland Portugal S.A.</i>		
	<i>Hungary</i>	<i>Intermusica Ltd.</i>		
	<i>Taiwan</i>	<i>Roland Taiwan Enterprise Co., Ltd.</i>		
製 造	<i>U.S.A.</i>	<i>Rodgers Instruments LLC</i>		
		<i>Roland Audio Development Corp.</i>		
	<i>Taiwan</i>	<i>Roland Taiwan Electronic Music Corp.</i>		
	<i>Italy</i>	<i>Roland Europe S.p.A.</i>		

会社の概要(2000年9月30日現在)

商号	ローランド株式会社(Roland Corporation)
設立	1972年4月18日
資本金	9,274百万円
主な事業内容	電子楽器、電子機器及びそのソフトウェアの製造販売並びに輸出入
売上高	151億69百万円(2001年3月期中間)
従業員数	859名

売上高の品目構成比(単独)



輸出売上比率 67.8%

役員一覧(2000年9月30日現在)

取締役会長	梯 郁太郎	取締役	庄 司 東 生
取締役社長 (代表取締役)	檀 克 義	取締役	本 村 定 則
専務取締役 (代表取締役)	新 田 寛	取締役	上 野 博 司
専務取締役	菊 本 忠 男	取締役	赤 松 啓 至
常務取締役	西 澤 一 朗	取締役	中 田 晴 昭
常務取締役	三 木 純 一	常勤監査役	甲 佐 諭
常務取締役	飯 村 泰 弘	常勤監査役	森 川 悦 男
取締役相談役	原 田 裕	常勤監査役	古 河 拓
		監査役	上 田 茂 實

会計監査人 監査法人 トーマツ

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所市場第一部
公告掲載新聞	日本経済新聞

株式名義書換停止期間 4月1日から4月30日まで
臨時に停止する場合は、あらかじめ公告する期間。

名義書換代理人 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
電話 大阪 06-6203-1751(代表)

同取次所 株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

単 位 株 数 100株

銀行口座振込のおすすめ

配当金のお受取りは、銀行口座振込が便利です。銀行口座振込の場合は、支払開始日に自動的にご指定口座へ入金させていただきますので、受取り忘れといったこともなくなり安心です。次回から銀行口座振込による配当金のお受取りをご希望の場合は、「配当金振込指定書」に所要事項をご記入いただき、お届出印をご捺印のうえ、振込を指定される銀行へお届けください。

株式の状況(2000年9月30日現在)

発行する株式の総数	50,000,000株
発行済株式の総数	25,572,404株
株主数	5,869名
大株主	

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)	持株数(千株)	持株比率(%)
梯 郁太郎	3,084	12.1	-	-
バイオニア株式会社	2,319	9.1	-	-
財団法人ローランド芸術文化振興財団	1,585	6.2	-	-
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウント アメリカンクライアント	1,230	4.8	-	-
三菱信託銀行株式会社(信託口)	805	3.1	-	-
株式会社 大和銀行	802	3.1	1,984	0.1
ローランド社員持株会	688	2.7	-	-

 **Roland**

<http://www.roland.co.jp/>

